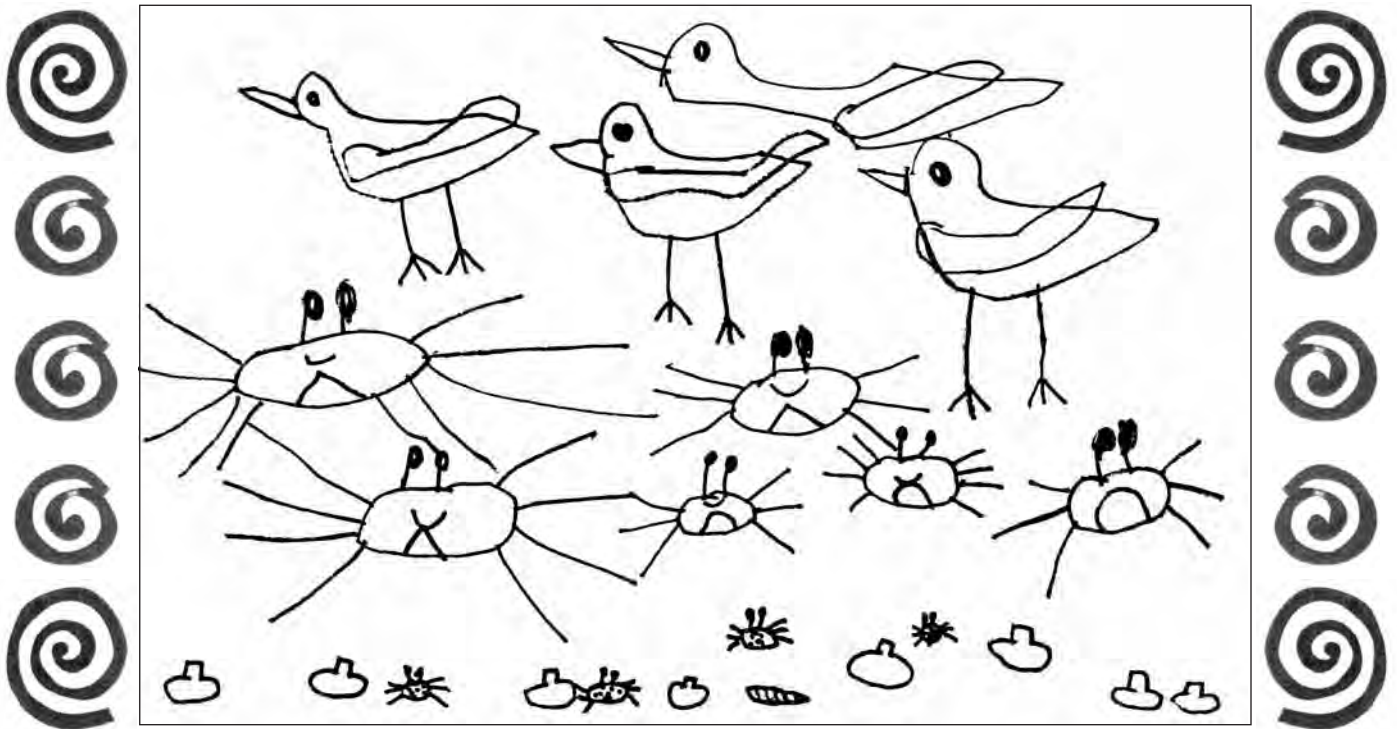




2011年3月11日に発生したマグニチュード9.0の東日本大震災、福島原子力発電所の事故から5年がたちましたが、思うように復興は進んでいません。被害を受けられたみなさまに、1日も早い復興とご健康をお祈り申し上げます。私たちは心から応援しています。



「香椎保育所」さくら組の子ども絵「わじろひがたのすてきななかま」

ご案内

春の和白干潟の自然さがし（雁ノ巣海岸）

和白干潟には全国の干潟では2か所だけといわれる貴重な自然海岸が残っています。砂浜、アシ原、クロマツ林や雑木林、淡水湿地など干潟本来の自然の景観が残っています。この和白干潟の自然のすばらしさをさがして歩くという企画の2年目です。今回は和白干潟の雁ノ巣海岸の砂洲やアシ原などの自然を歩いてみましょう。春の雁ノ巣海岸にはどんなすばらしい自然があるのでしょうか？ 和白干潟を守る会会員と共に市民の皆さんも歩いてみませんか？ この企画は年4回、四季に1回ずついたします。私たちといっしょに和白干潟の宝物をさがしてみませんか？

とき：4月26日（火）受付13:45 開始14:00～16:30 中潮 満潮：11:31 干潮17:59

集合：JR香椎線雁ノ巣駅前（福岡市東区雁ノ巣）

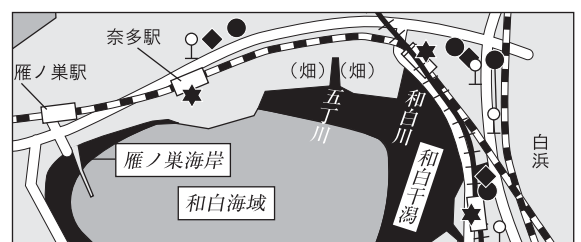
参加費：無料 雨天中止、小雨決行

持ち物：ルーペ、筆記具、飲み物、あれば（双眼鏡）

服装：長そで、長ズボン、帽子、長靴

主催：和白干潟を守る会

問い合わせ：TEL: 090-1346-0460（田辺）



雁ノ巣海岸は駅から徒歩5分

2016年度 和白干潟を守る会 総会報告 (高田 将文)

主な役員と事務局組織

2月27日に、2016年度の総会が開催されました。参加者は16名。山本代表が「和白干潟を守る会は今年で28年目を迎えました。2015年度は3月から11月まで、ラムサール条約の街頭署名活動に取り組み、1月に福岡市長と環境大臣へ提出しました。

2015年度もすばらしい活動ができたと思います。今年度もラムサール条約登録地となるよう希望を持ってがんばりましょう。みんなの努力で自然豊かな和白干潟を未来の人たちに渡したいと思います。引き続き若い人たちの活動への参加を心から待っています。」と開会挨拶をおこないました。

事務局組織と内容は下図の通りです

会鳥 ミヤコドリ	観察会
代表 山本廣子	クリーン作戦
	干潟まつり
事務局	HP編集・通信
事務局長	調査、写真
今村恵美子	書記、会計
事務局員	名簿・通信配布管理
山之内芳晴	助成金、監査
会計	保全のつどい
田辺 スミ子	山川海流域連携
	資料点検



2016年度活動方針 私たちは、この方針で1年間取り組みます!

1. 和白干潟環境教育プログラムによる「自然観察会」、「クリーン作戦と自然観察」、「和白干潟まつり」「学習会などの企画」を通して、多くの市民、特に若い世代や子どもたちに和白干潟の自然の大切さを認識してもらい、自然保護の気運を高める。
 - ・『春・夏・秋・冬の和白干潟の自然さがし』を継続します。自然観察ガイドの知識の向上と育成に取り組みます。
2. 和白干潟の大切さと保全の必要性を広く社会に訴えるため、和白干潟を取り巻く自然環境の変化について、干潟及びその周辺の生物の調査、漂着ゴミ調査などの活動を継続し、調査結果を公表する。
3. 貴重な鳥類をはじめとする生物多様性に富む和白干潟を「ラムサール条約登録地」とするための取り組みを強化する。博多湾の自然を壊す人工島などの公共事業には厳しい監視と関心を持って対処する。今ある自然を壊さないこと、壊れた自然は元の自然に戻すことを目指す。

和白干潟の生態系を守るために、山・川・海の流域連携に取り組み、地域の自然再生への取り組みを進める。和白干潟を守る会の活動をより広く知ってもらい、活動への参加者、賛同者を増やすために広報活動を強化する。

 - ・ラムサール条約登録をめざし、議会、行政、市民に向けた活動に取り組みます。
 - ・2018年で30周年を迎える和白干潟を守る会の記念事業に向け、検討を始めます。

2015年度決算と2016年度予算



(単位：万円)

2015年度決算

当期収入は276万円で、主な収入は会費34万円、寄付金129万円、助成金等76万円と事業収入が36万円です。当期は特に各企業や各財団から多くの寄付金を頂きました。支出は274万円で、主な事業支出は通信・リーフレット発行、観察会、干潟まつりです。収支は2万円の黒字で、次年度への繰越は325万円となりました。

2016年度予算

当期収入は296万円を見込み、支出は252万円を計上しました。会費、寄付金など貴重な収入を大事に使っていきます。

	2015年度 決算	2016年度 予算
当期収入	276	296
当期支出	274	252
収支差額	2	44
前期繰越金	323	325
次期繰越金	325	369

和白干潟を守る会の活動を紹介します！ (山之内 芳晴)

守る会では様々な活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしております。

干潟で自然の大切さを伝える活動（観察会や干潟まつり）

学校や様々な団体の依頼を受けて、和白干潟自然観察会を実施しています。昨年は20回行いました。また、和白小学校では年間計画の中で継続して「和白干潟自然観察」を行い、2月にはまとめの発表会がありました。このほか、昨年11月には27回目の「和白干潟まつり」を開催し、約450人の参加がありました。



和白干潟のクリーン作戦と自然観察

毎月第4土曜日の午後3時から5時まで、海の広場から唐原川河口までの範囲を主体に、企業や学生を含む一般の参加者と共に清掃し、同時に自然観察も実施しています。昨年は定例のクリーン作戦のほかに臨時の清掃を加えると、年間18回行い、延べ924名が参加、2,366袋のゴミを回収しました。



和白干潟周辺の自然の調査

環境省、バードリサーチ、JEANなどの依頼を受けて、年間を通してシギ・チドリ調査、水鳥調査、ゴミ内容調査に参加しました。（鳥9回、漂着ゴミ1回）



和白干潟の水質調査と砂質調査の結果（毎月実施）

下の表は2015年10月から2016年3月までの水質調査と砂質調査結果です。水質調査についてはほぼ例年どおりでしたが、透視度は良くなりました。砂質調査については、昨年秋にはアオサの発生が多かったことで、10メートル地点の表層酸化層が薄くなっています。（表層酸化層が厚いほど砂質が良いこととなります）

水質調査結果 (2015年10月～2016年3月)

測定項目	単位	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リン酸イオン (PO ₄)	mg/l	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	5	5	5	5	5	5
亜硝酸 (NO ₂)	mg/l	0.005	0.02	0.01	0.01	0.005	0.005
透視度	cm	97	21	84	87	64	100

砂質調査結果 (2015年10月～2016年3月)

測定項目	単位	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10m地点 表層酸化層の厚さ	mm	3	5	8	23	14	21
還元層の黒色度	-	9	9	8	7	8	8
150m地点 表層酸化層の厚さ	mm	3	15	15	36	40	30
還元層の黒色度	-	10	8	8	7	9	9

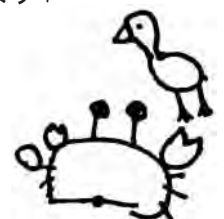
山・川・海の流域会議

立花山や三日月山を源流として和白干潟にそそぐ唐原川、この集水域全体を保全する目的で2012年7月に発足。立花山から和白干潟までの保全活動6団体で構成されています。2ヶ月に1回定例会議を開き、2015年5月には唐原川お掃除し隊、10月に観察会「和白干潟の探検」、今年の1月には「海藻研究所」所長の新井章吾氏を講師として「和白干潟・命のつながり」についての学習会をしました。



助成金ありがとうございます！ 大切にに使わせていただきます！

- 1/29 「あいおいニッセイ同和損害保険(株)」様より寄付金を頂きました。観察会やクリーン作戦に社員やご家族が参加されています。
- 1/29 「博多湾の自然を守る会」様より寄付金を頂きました。
- 2/26 「キャノンマーケティングジャパンKK」様より寄付金を頂きました。観察会やクリーン作戦に社員やご家族が参加されています。
- 3/28 「(公財)イオン環境財団」様より助成金を頂きました。



ハマダイコンの花

アブラナ科。海岸に生える2年草。大根が野生化したものといわれています。大根にそっくりですが、根は太くなりません。和白干潟の沿岸には海の広場やアシ原の中道、砂洲、奈多海岸、雁ノ巣海岸などで見られますが、近年はハマウドに押されたのか、少なくなっています。アシ原の中道に1月には、ハマダイコンが早くも大きく育ち、きれいな花が咲いていましたが、寒波で雪が積もり傷んでしまいました。3月に入り暖かくなり、また元気な花が見られるようになりました。



ハマダイコンの花

アシハラガニ



アシハラガニ

モクズガニ科。甲幅35mm。アシ原に巣穴を掘って生活しています。暖かくなると、日中にもたくさんのアシハラガニが水際を徘徊しています。雑食性で植物や魚の死骸なども食べています。和白干潟ではクロダイの釣り餌のために捕獲されたこともあり、数を減らして残念でしたが、最近ではまた多く見られています。自然観察会では、子どもたちの人気者です。ハサミが硬く、挟まれてけがをすることもあります。捕まえる時には、甲羅を持つように注意しましょう。

オオソリハシシギ

シギ科。全長39cm。旅鳥で、春と秋に和白干潟に立ち寄っていきます。長いくちばしが少し上に反った大型のシギです。春の渡りの時期には夏羽のものが多く、顔や胸が赤褐色で美しくなっています。干潟でくちばしを穴に差し込み、ゴカイ類や甲殻類、貝類などを食べています。以前の和白干潟では特に雁ノ巣海岸付近で30羽程の渡来が観察されていましたが、最近では3~5羽程度の渡来になっているようです。大型のオオソリハシシギが数十羽の群れで飛び姿は、素晴らしいものです。また和白干潟で見たいものです。



オオソリハシシギ



★ 春の和白干潟のしぜん ★

アシ原：花：ハマダイコン、ハマエンドウ、ハマウド、ハマヒルガオ。
穂：ハマニンニク。新芽：アシ、ハママツナ、ホソバノハマアカザ、ホコガタアカザ他。鳥のさえずり：ウグイス。
干 潟：潮干狩り。干潟の生きもの：コメツキガニ、マメコブシガニ、オサガニ、ミズクラゲ、ウミニナ、ヤドカリ、アサリ、オキシジミ。
アシ原付近：アシハラガニ、クロベンケイガニ。
沿岸の泥地：ヤマトオサガニ。干潟の生き物たちが活発に動き出します。
水 鳥：渡りのシギ・チドリ：オオソリハシシギ、ハウロクシギ、オバシギ、チュウシャクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、メダイチドリ。
夏鳥：コアシサシ、オオヨシキリ。
※クロツラヘラサギ、ミヤコドリは4月中旬頃まで見られます。



ハマエンドウ

2018年度ラムサール条約登録を求め 街頭署名活動を開始しました

昨秋から始めたラムサール署名第2弾、寒さにめげず月2回街頭署名活動に取り組みました。今回は場所をさらに1箇所増やし、3か所で行っており、手ごたえを感じています。



日本自然保護大賞に「蒲生を守る会」 和白干潟を守る会も連続入選

和白干潟を守る会の友好団体、仙台市の「蒲生を守る会」が2015年度日本自然保護協会の「自然保護大賞・東北復興貢献部門大賞」を受賞しました。東北大震災の津波で再生を危ぶまれた干潟を守り、防潮堤計画には生態系保全の意見を出し、一部変更を実現するなどの活動が評価されました。和白干潟を守る会も2年連続で「博多湾・和白干潟の保護活動」で入選しました。

山・川・海の流域会議新春講演会 「和白干潟命のつながり」

1月9日、新井章吾氏（海藻研究所所長）が講演し、和白干潟の海底湧水、アオサの肥料としての活用など自然の恵みを活かすことを語りました。



九州産業大学で講演「和白干潟を未来へ」

1月9日、守る会山本廣子代表が経済学部宗像ゼミで特別講義を行いました。和白干潟のクリーン作戦に常連参加の宗像ゼミだけに、質問も多く「行動に移すことの大切さを感じた」などの感想が出され、思いが伝わったようです。

福岡教育大学附属福岡小学校5年生に講演

1月22日、守る会山本廣子代表が「和白干潟の自然と環境保全活動」について講演しました。学校の校庭にメダカ池を設置する参考に、と講演を依頼され、環境を守ることの意義や活動の大切さを話しました。



第2回「和白干潟の自然写真展」開催

2月23日から3月21日まで、東区香住丘の市立東市民センターロビーにて、第2回「和白干潟の自然写真展」を開催しました。春夏秋冬各12枚、合計48枚を展示しました。「自然への深い愛情が感じられる」と好評でした。

渡り鳥に影響は？雁ノ巣ヘリポート問題浮上！

福岡空港の航空機離発着回数の増加に伴い、ヘリコプターの拠点として東区奈多・雁ノ巣に移転する計画が浮上しました。騒音問題などで地元説明はありましたが、渡り鳥への影響は説明されていないようです。しかしこの場所は「雁ノ巣」の地名の通り、多数の野鳥の大切な休息地です。騒音、気流の問題など影響を受けないはずはありません。この問題は和白干潟に多大な影響を与えることが懸念され、環境アセスメントに注目していきます。

気が付いたらあなたも電話してください！

海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時
092-282-7146（港湾局維持課）

沖のアオサをとってほしい時
092-282-7153（港湾局環境対策課）

弱った野鳥を見つけた時 092-513-5611 福岡県筑紫保健福祉環境事務所（地域環境課）
092-643-3367 福岡県環境部自然環境課野生生物係

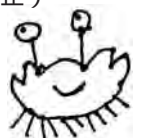


** お 願 い **

干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう！
とても危険です。

干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！
（ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止）

犬のフンの始末は飼い主がしましょう！



2015年12月

- 12/1 (火) 和白干潟通信117号編集会議
- 12/5 (土) バードウォッチング in 和白干潟2015参加
- 12/6 (日) 2015年冬期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 12/8 (火) 第27回和白干潟まつり第3回実行委員会
- 12/10(木) 2015年冬期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)
「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 12/11(金) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 12/13(日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 12/14(月) 和白小学校4年生の和白干潟観察会
- 12/19(土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 12/20(日) 自然観察ガイド講習会
- 12/23(水) 和白干潟通信117号編集会議

2016年1月

- 1/3 (日) 2015年度冬期シギ・チドリ調査2回目(今津)
- 1/9 (土) 山川海の流域会議の新春講演会参加
九州産業大学経済学部特別講義(宗像ゼミ主催、
講師:山本廣子)
- 1/10 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
2015年度冬期シギ・チドリ調査2回目(博多湾東部)
和白海域水鳥調査
- 1/11 (月) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 1/12 (火) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(西鉄香椎駅周辺)
干潟通信117号発送会
- 1/14 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 1/22 (金) 福岡教育大学附属福岡小学校5年生に和白干潟の講演
- 1/23 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 1/26 (火) 冬の自然さがし

2016年2月

- 2/4 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 2/9 (火) 2015年度冬期シギ・チドリ調査3回目(博多湾東部)
- 2/11 (木) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 2/14 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 2/18 (木) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(福工大前駅周辺)
- 2/22 (月) 第2回「和白干潟の自然写真展」(3/21まで)
- 2/23 (火) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(千早駅周辺)
- 2/25 (木) 和白小学校4年生の和白干潟観察会まとめ発表会
- 2/27 (土) 総会・臨時定例会議・クリーン作戦と自然観察
- 2/29 (月) 2015年度冬期シギ・チドリ調査3回目(今津)



きりえ「ノイバラ咲く和白干潟」

ご案内

くすだひろこ きりえ展

・ 和白干潟の自然 ・

日時: 5月6日(金)~5月31日(火)

11:30~15:00、17:30~20:30

会場: レストラン「花もも」(日曜定休)

福岡市東区唐原3-7-6

TEL:092-673-0563

ご高覧をお願いします



きりえ「和白干潟の輝くクコの実」

干潟のつばやき「年を越せないアサリたち」

春の和白干潟、潮干狩りのシーズンは干潟が人で一杯になります。わたしたちに潮干狩りを楽しませてくれるアサリ、成貝1個で1日10の水を濾過してくれ、干潟浄化の一翼を担っています。5、6年前は3センチ以上の大きなものもたくさんいましたが、アサリ業者の乱獲でここ数年、大きなアサリが少なくなりました。最近夏、秋までは1センチほどの稚貝はたくさんいますが、この稚貝たちが年を越せません。秋になるとアオサが大量発生し、干潟を覆います。干潟を覆ったアオサは分解されて腐敗すると硫化水素を発生させ、その下にいるアサリたちを死滅させてしまいます。冬になって西風にあおられてアオサが干潟を移動するたびに、その下にいるアサリたちはダメージを受けます。際限なくアサリを取り尽くす業者、毎年大量発生するアオサに対して手をこまねいている行政。アサリたちが年を越せる海にして欲しいですね。(山之内)



死んだアサリの稚貝

観察会報告（2015年11月～2016年2月）（今村 恵美子）

11月7日、ウォールレスジャパン 子ども25名と大人9名

参加者は、お弁当を食べてから観察に移りました。和白干潟の鳥や生きものを詳しく説明の後、クロツラヘラサギ、ハマシギ、ヒドリガモなどを見ました。アシハラガニやコメツキガニを採り、アサリの掘り方を教えてアサリを掘り、浄化実験のボトルはアサリですぐにいっぱいになりました。最後にゴミ拾いをして、回収したアオサやゴミは約40袋もありました。（田辺）



11月24日、西戸崎小学校 5年生65名と先生4名

子どもたちはお弁当を食べてから観察開始。クロツラヘラサギ、ミサゴやカモ類を観察しました。アオサのヘドロに足をとられながらアシ原に向かい、アシハラガニを捕まえ観察。干潟でアサリやウミニナを採って浄化実験。コメツキガニを手で掘って採りました。子どもたちから質問が次々に出され、「濡れたけど、カニ捕りが面白かった」「カニや鳥が色々見れて楽しかった」などの感想がありました。（今村）

11月29日、精華女子短大 2年生29名と先生1名

事務所で説明の後、干潟に移動して野鳥観察。ミヤコドリ、クロツラヘラサギ、ツクシガモなど冬鳥のスターがずらりとそろい、カモ類も多く見応えのあるバードウォッチングとなりました。アシ原ではクコの赤い実を食べ、砂浜でカモの足跡や糞を見つけるなどの自然体験。ウミニナの浄化実験も成功し、事務所に戻って2階のきり絵ギャラリーを見学。「本日学んだことを幼稚園で働き出した時に子どもたちに教え、一緒に学びたいと思った」など感想が出されました。（今村）



12月14日、和白小学校 4年生110名と先生5名

6月に夏の和白干潟観察を体験。今回は冬の観察会です。クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、ツクシガモ、スズガモ、マガモ等の多種類の鳥を観察。アシ原ではセンダンの葉痕観察をし、ハゼの紅葉、クコの実などを観察しながら砂洲に着きました。雨粒も落ちてきましたが、カモの足跡や波の紋を観察、コメツキガニやウミニナを探しました。引き返す途中には、全員持参したゴミ袋にいっぱいのゴミを拾いました。最後のまとめでは多くの子ども達が時間ぎりぎりまで熱心に質問をしていました。（松田）



1月26日、「冬の和白干潟の自然さがし」13名参加

小雨がぱらつく中、傘をさして4回目の自然さがしを行いました。参加者は一般の方2名、守る会は11名。山本代表は「今日は樹林帯にいる鳥を探せたらいいですね」と挨拶。バードウォッチングの後、アシ原に入り、実のなっている植物、芽を出し始めた植物を観察後、チェックリストを使って見たものを全員でチェック。観察した鳥は26種、植物は40種、貝類3種などでした。参加者からは「ダイシャクシギを初めて見た」「ヒトモトススキがいっぱいあるのに感動した」などの感想。寒い日でしたが、冬ならではの自然を見ることが出来ました。（有江）



2月25日、和白小学校和白干潟観察 まとめの発表会

夏と冬の観察会の様子を思い浮かべながら、今年はどうな発表が聞けるのか大いに期待して学校へ。発表は12の班に分けて、2回ありました。替え歌や紙芝居仕立てにしたり劇をしたり、クイズ形式で興味を引かせたりして、工夫や熱心が伝わってきました。テーマは和白干潟の生き物や鳥やゴミのほか、守る会の活動を取り上げてあり、子どもならではのアイデアがとても良かったです。最後に山本代表のまとめの授業を熱心に聞いていました。今年も子供たちの生き物や、自然保護に対する力強い言葉に勇気づけられ、このまま素直に育ってほしいと願い、体育館を後にしました。（松田）



守る会問い合わせ窓口

ホームページ：<http://wajirohigata.sakura.ne.jp>

入会/観察会(申込等)	山之内 芳晴	Tel 090-8412-2663
クリーン作戦	田辺 スミ子	Tel 090-1346-0460
干潟まつり	今村 恵美子	Tel/Fax.092-942-5282
広報/調査/定例会議	山本 廣子	Tel/Fax.092-606-0012



お知らせコーナー

和白干潟のクリーン作戦と自然観察のおさそい

4月23日(土) 15時～17時 「干潟・湿地を守る日2016」参加企画
「全国春のビーチクリーンアップ2016」参加企画

5月15日(日) (受付:9時) 9時半～11時半 「ラブアースクリーンアップ」参加

集合: 和白干潟 海の広場(東区和白4丁目海岸) 小雨決行

問合せ: Tel 090-1346-0460 (田辺)



定例スケジュール

定例会議 (4/23, 5/28, 6/25)

毎月第4土曜日 10時半～13時 守る会事務所にて開催。



以下は参加自由です! 仲間が待ってます!

クリーン作戦と自然観察 (4/23, 5/28, 6/25)

毎月第4土曜日 15時～17時 和白干潟・海の広場集合
長靴があると便利。駐車場なし。

和白海岸探鳥会 (5/8, 6/12, 7/10)

主催: 日本野鳥の会 福岡支部

毎月第2日曜日 9時～12時 JR 和白駅前の和白公園集合
参加費: 一般300円 野鳥の会会員100円

ボランティアへのお誘い

和白干潟を守る会のボランティア活動に参加して、新たな自分を見つけませんか? あなたの経験や知識や技術が、きっと活かされますよ!

会員募集中!

年会費 個人 2,000円

団体 5,000円

カンパの協力お願い

郵便振替 01720-4-23860
和白干潟を守る会

和白干潟の鳥たち (その74) 海秋沙

ウミアイサ (カモ目 カモ科 / Red-breasted Merganser) [全長55cm]



(写真撮影: 三宅 僚)

ウミアイサは冬鳥として和白干潟を訪れています。淡水ガモがいる沿岸より少し深い辺りで、潜って魚をとっています。また水面に浮いたまま顔だけを水中に入れて、魚を探しているようです。数羽が並んでこの箱メガネ状態が続いていることがあり、とても可愛いです。ウミアイサのオスの頭部は黒緑色で、後頭にはボサボサした冠羽があります。メスの頭部は茶褐色で、後頭はやはりボサボサした冠羽があります。かっこいい鳥として子どもたちに人気の鳥です。春先のオスは首を上げて、求愛ディスプレイをします。和白干潟では4～5羽の小群で見られますが、全体では20羽程が観察されます。また4月頃になると渡りのためでしょうか、もっと多くの群れが見られることもあります。(山本 廣子)

【編集】 山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子・今村 恵美子・高田 将文

《カット》「香椎保育所」の子どもたち・くすだひろこ

次号は2016年7月に発行予定



【編集後記】1月の終わりにフヨウの挿し木をしてみました。ダメもとで沢山(30本)挿し木しているので、根や芽が出なくても仕方がないかな～と思っていたところ、20本成功! 今から開花がとても楽しみです。今度は、和白干潟のハマボウの発芽に挑戦中!! 今年の干潟まつりのバザーに出せたらと思います。(高田 将文)